

今回のおすすめメニュー

—今回は『ルドルフとイッパイアッテナ』の著者「斉藤 洋」さんの本を紹介。2種類のテイストをどうぞ。—

NO IMAGE
『アルフレートの時計台』

『アルフレートの時計台』

斉藤 洋 著 森田みちよ 画 / 偕成社

ふしぎな時間がつないだ友情のものがたり。



ちょっとあ・じ・み

少年時代をすごした町に赴任してきた小児科医クラウス。よみがえる親友との記憶。親友が好きだった時計台。その時計台は、いつも3時をさしており、いくつものうわさがあった。「一階の入り口から、人が入るところは見ても、出てくるのを見た者はいない」とか、「夜中の零時にくると、そのときだけ、時計は零時をさしている」とか…。そんな時計台の入り口にクラウスは小さな異変をみつける。開かずの扉のはずが、ほんの少しすきまが開いていて…

請求記号:913サ/所蔵館:中央・石川・勝連

そのまえに…

『ドローセルマイアーの人形劇場』

この本を読んだことのある方は、少しお得感をえられます。

所蔵館:中央・石川・勝連

NO
IMAGE

NO IMAGE
『コリドラス・テイルズ』

『コリドラス・テイルズ』

斉藤 洋 著 ヨシタケシンスケ 画 / 偕成社

「コドラス・パレアトゥス」という熱帯魚を飼っていますか？

ちょっとあ・じ・み

デパート9階熱帯魚専門店。偶然立ち寄ったその店で気になる水槽。「熱帯魚を飼うのなんてめんどくさいんだろうな…」そのとき、どこかで声がした。「やってみれば、なんてことないさ」ナマズの「コリドラス・パレアトゥス」と暮らすことになった「私」は、彼の語る荒唐無稽な世界一周の上話にあきれつつ…作家である「私」が連載する掌編小説も交え、2倍楽しめるショートショート。「コリドラス・パレアトゥス」と「私」のかけあいがおもしろい。

請求記号:913サ/所蔵館:勝連

↑『ナツカのおばけ事件簿』シリーズのもとになったおはなしもはいています。

NO
IMAGE